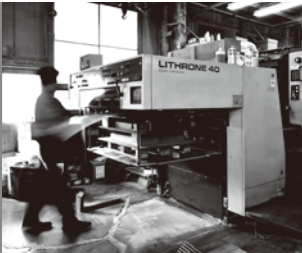


時代が大きく変化する中で、社会や生活をより良くするためのデザインが求められています。デザインは、企画と表現のかけ算。地域の課題や魅力を分析し、整理し、統合する。そして、斬新な発想で、最適なシクミやカタチを創造し、美しくわかりやすく伝えていく。今年からはじまった明星大学デザイン学部デザイン学科では、これからの社会で役立つデザインを目指して、従来の狭い範囲のデザインの枠にとどまることなく、柔軟な発想で、地域に開かれた総合大学ならではの強みを活かしたデザイン教育をおこなっています。

この公開講座では、多摩エリアでデザインを活かした3つのプロジェクトの事例を通じて、本来のデザインのあり方を理解してもらい、それぞれの暮らしや仕事の中でデザインを活かすことを考えてもらえればと思います。これからデザインを学びたいと考えている高校生、大学生、デザイナー。自分の仕事や会社にデザインを取り入れたいと模索している社会人。地域で暮らす中でデザインのことが気になっている生活者。地域をもっと暮らしやすくしたいと活動している行政やNPOなどの団体に所属している人など。多様な人が集まり、それぞれの立場から地域に活かすデザインについて考えるきっかけになれば幸いです。

プロジェクト1 **工場とものづくり「かみの工作所」**
立川市で50年続く紙の加工と印刷が得意な福永紙工と、独自の発想を持つ複数のデザイナーが取り組むプロジェクト。そこから生まれるオリジナル紙製品は、多くの人に平面の紙を立体化する楽しさを提供しています。
<http://www.kaminokousakujo.jp/>



プロジェクト2 **情報誌とまちづくり「たまたら・び」**
まちにいる多様な人たちが集まり、まちを見直し、まちの魅力を発信する雑誌をつくるプロジェクト。多摩信用金庫が企画し、けやき出版が編集・発行。ここから、人が出会い、未来のまちのイメージが生まれてきます。
<http://www.keyaki-s.co.jp/lavie/>

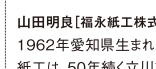


プロジェクト3 **学びとコミュニティ「東京にしがわ大学」**
学びを通じて新しいつながりをつくる非営利活動のプロジェクト。多摩エリア全体をキャンパスに見立て、まちのあちこちで授業をすることで、それまで知らなかった場所や人との出会いがそれぞれの暮らしを豊にしていきます。
<http://www.tokyo-nishigawa.net/>



スケジュール	13:00	開場
	13:30-13:35	はじめに 進行:萩原 修
	13:35-13:50	地域とデザイン 西本剛己
	13:55-14:40	工場とものづくり「かみの工作所」 三星安澄×山田明良
	14:45-15:30	情報誌とまちづくり「たまたら・び」 丸山晶崇×長島 剛
	15:35-16:20	学びとコミュニティ「東京にしがわ大学」 宮内賢治×西川義信
16:30-17:00	質疑応答 まとめ	

三星安澄 [グラフィックデザイナー]
1980年生まれ。国立市育ち。早稲田大学建築学科卒。在学中より野老朝雄に師事。2008年MITSUBOSHI DESIGN設立。「国立本店」の初代店長として、地域に開かれたデザイン事務所を模索する。「かみの工作所」ディレクターとして、ペーパープロダクトを多数デザイン。2011年に事務所を西荻窪に移し「西荻紙店」オープン。凸版印刷主催「GRAPHIC TRIAL2011」に参加。デザイン、販売、研究の三つの分野を行きつ戻りつしながら活動をおこなう。
<http://www.mitzuboshi.com>



山田明良 [福永紙工株式会社 代表取締役]
1962年愛知県生まれ。アパレル商社を経て、福永紙工の代表に就任。福永紙工は、50年続く立川市にある会社で、紙の加工と印刷を得意としている。デザインとの関わりを模索する中で、2006年にデザイナーの斬新な発想と工場職人の確かな技術から生まれる紙製品を発信する「かみの工作所」を立ち上げ、オリジナル商品を製造販売。また、「テラダモキ」「MABATAKI NOTE」「gu-pa」など様々なプロジェクトを進行し多方面から注目されている。
<http://www.kaminokousakujo.jp/>



丸山晶崇 [デザイナー]
1979年東京都生まれ。多摩美術大学卒業。デザイン事務所、広告制作会社などを経て、2009年より独立。2010年4月より、2012年6月まで「国立本店」の店長を担当。2011年5月に国立市谷保に「やほろじ」を共同で立ち上げる。また、2013年7月より「circle」などを立ち上げる。また、circle/gallery & booksの運営を始める。「デザイナーとは職業ではなく、生き方である」をモットーにし、デザインを軸にその周りの仕事を進めている。
<http://www.circle-d.me/>



長島 剛 [多摩信用金庫 価値創造事業部 部長]
1988年多摩中央信用金庫入社。1997年「多摩らいふ倶楽部」を立ち上げ、地域のコミュニケーションやコンシェルジュの必要性を痛感し、多摩地域活性化のネットワーク構築作りに従事。「地域情報誌たまたら・び」「課題解決プラットフォームTAMA」「東京・多摩のおみやげプロジェクト」などを立ち上げる。多摩コミュニティビジネスネットワークの世話人としてコミュニティビジネスの普及・啓発する一方で、地方公共団体との連携協定の締結なども手がける。
<http://www.tamashin.jp/>



宮内賢治 [アートディレクター]
1975年生まれ。2013年より POOL inc.に参加し、広告、グラフィック、企業CI、ブランディング、商品パッケージなどのアートディレクションを担当。主な仕事に「マイナビ転職 キャンペーン」「ロート製薬 SUGAO」のアートディレクション「サークルKサンクス リッチタイムカフェ」のパッケージデザインなど。また、国立市在住から地域の活動にも参加し、「東京にしがわ大学」「エリアマガジンのわ」などのアートディレクションを手がける。
<http://pool-inc.net> <http://km-design.jp/>



西川義信 [東京にしがわ大学 学長]
1977年滋賀県甲賀市出身。防衛・国際宇宙ステーション関係の技術営業などを経て、現在は医療現場を支えるシステムディレクターとして全国を転々としている。2013年10月より、学びを通じて人と地域をつなげる「東京にしがわ大学」の学長に就任。2014年7月には、ものづくりを通じたコミュニティスペース「ちかば」を国立市にオープン。現在、障害者と健常者のコミュニティバリアをなくし共創する社会を目指す団体を準備中。
<http://www.tokyo-nishigawa.net/>



西本剛己 [明星大学デザイン学部 学部長]
筑波大学大学院修了後、1989年より現代美術家として活動を開始。「愛・地球博」では日本館代表アーティストを務める。大掛かりで触覚性の強いインスタレーション作品を特徴としている。一方、2001年に「ARTLAB+ (アートラボ・プラス)」をスタート。店舗設計、展示会の空間デザイン、ディスプレイ、グラフィックデザイン、ウェブデザイン等、活動の巾を広げる。2005年より明星大学で教鞭をとり、2014年より新しく設立されたデザイン学部の学部長となる。
<http://www.artlabplus.com/>



萩原 修 [明星大学デザイン学部 教授]
1961年生まれ。国分寺育ち。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。大日本印刷、リビングデザインセンターOZONEを経て独立。日用品、住宅、店、展覧会、書籍などの企画、編集、プロデュース、ディレクションを手がける。「つくし文具店」「かみの工作所」「たまたら・び」「東京にしがわ大学」「中央線デザインネットワーク」「国立本店」「西荻紙店」「国分寺さんち」などのプロジェクトを推進。著書に「9坪の家」「デザインスタンス」など。
<http://www.shuhenka.net/>



定員 200名
参加費 無料(申込先着順)
申込方法 以下の内容を明記の上、メールにてお申し込みください。
koukai@design.meisei-u.ac.jp
1.氏名 [ふりがな] 2.職業 3.住所
4.携帯電話 5.メールアドレス 6.参加人数
お問合せ 042-591-5111 [代表]

明星大学日野キャンパス
191-8506 東京都日野市程久保2-1-1